

会員各位

2023年5月吉日

2023年度熊薬東京バッテン会総会・研修認定対象研修会「大江戸教室」のご案内

熊薬東京バッテン会会長 中上博秋

青葉の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2023年度熊薬東京バッテン会総会・研修認定対象研修会「大江戸教室」並びに懇親会を下記の要領で現地開催することになりました。

今回の研修会には、医薬品の薬効評価と副作用解析に基づいた新たな薬物療法の構築を目指し精力的に臨床研究や基礎研究を展開されています慶應義塾大学薬学部 薬効解析学講座教授 松元一明先生（平成10年卒）を講師としてお招きし、ご講演頂くことになっております。薬剤師及び研究者として長年感染症治療に取り組んでこられたご経験を踏まえ、エビデンスに基づいた感染症治療の最新的话题をお話しいただけるものと期待しております。また、甲斐先生より例年好評な熊薬情報のご紹介もあります。

今回は総会、研修会に加え、懇親会が4年ぶりに対面での開催となります。また、懇親会の冒頭に、バッテン会ではくまモンが2度目の登壇となります。対面での交流はなにものにも代えがたいもので、旧交を温め、新たなつながりを結ぶ場として、本会への会員の皆様の奮ってのご参加をお願い申し上げます。

記

開催日時： 2023年7月9日（日）10:00～15:00

場所： ミーティングスペース AP 浜松町

東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館B1F

総会： 10:00～10:20（受付は9時半より） Room A

来賓挨拶 熊本大学薬学部同窓会 会長 入江 徹美 先生（昭和53年卒）

熊薬情報： 10:20～10:50 熊本大学名誉教授 甲斐 広文 先生（昭和58年卒）

研修会： 10:50～12:20

座長 第一三共株式会社薬物動態研究所 堤 泰寛（平成7年卒）

『薬剤師による感染症治療の実践と基礎・臨床融合研究』

慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座 教授 松元 一明 先生（平成10年卒）

懇親会： 12:30～15:00 Room N+O（受付は12:00より）

くまモンタイム：12:30～13:00

参加費： 当日会場受付にて申し受けます。

男性 10,000円（講演会＋懇親会）、3,000円（講演会のみ）

女性 8,000円（講演会＋懇親会）、3,000円（講演会のみ）

参加申し込み： メール案内への返信又は返信用葉書にて6月16日（金）までに出席をご連絡下さい。

日本薬剤師研修センターの薬剤師研修・認定電子システム（PECS）による認定研修薬剤師の単位取得：

今回の研修会（WEBでの同時配信はいたしません）では1単位の取得が可能ですが、参加者のうち単位取得希望者はPECSによる事前の個人登録と登録された方の本人確認票（QRコード）の持参が欠かせませんので、QRコードを必ずご持参ください。



【講演要旨】

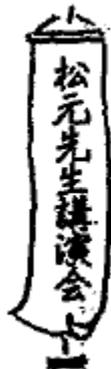
薬剤師による感染症治療の実践と基礎・臨床融合研究

慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座 松元一明

MRSAによる院内感染が問題となり、1996年4月の診療報酬改定で院内感染防止対策加算が設置された。2010年4月には薬剤師、医師、看護師、臨床検査技師を含む感染制御チーム（ICT）の設置が加算の要件となった。感染症はすべての病院、診療所で起こるため、これを契機に多くの薬剤師が感染制御に携わることとなった。さらに多剤耐性菌の問題が深刻となり、2018年4月の診療報酬改定で抗菌薬適正使用支援加算が新設され、ICTとは別に薬剤師と医師を中心とした抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の設置が算定要件となり、感染症に対する薬剤師の役割は明確化され大きくなった。この間、感染制御専門薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、外来抗感染症薬認定薬剤師制度が発足している。

私は2003年4月に鹿児島大学病院薬剤部に入職し、1年目からTDM業務に従事し、抗菌薬の適正使用に携わり、2006年4月にはICTの一員となり、退職するまでICT活動を続けた。鹿児島大学病院はチーム医療に積極的であり、診療報酬になる前からICTを設置しており、さらに感染症治療の中心に薬剤師を据え、当時は全国的に見ても稀であったことを記憶している。私はICUのカンファレンスに毎朝参加し、医師の診断に基づき感染症治療薬の選択、用法・用量を提案した。これほどまでに人の命と向き合ったことはなく、“たいぎゃ”勉強し、“だご”やりがいのある仕事であった。勉強すればするほど、より良い薬物治療を提供するためには、解決しなければならない問題が山積みであることに気づき、感染症に関する研究を臨床研究をベースとして実施した。2014年4月に慶應義塾大学薬学部に着任した後も感染症の研究をさらに拡大し、多機関共同臨床研究や基礎研究を実施し、薬物療法の最適化を目指して現在もエビデンスを構築している。

本講演では、まず基本的なこととして感染症治療における抗菌薬選択から用法・用量を決定する方法について解説し、次に、我々が実施した臨床研究や基礎研究により臨床の問題が解決され、治療最適化されたケースや治療選択肢を増やしたケースなど、最新の感染症治療について紹介する。



【講師プロフィール】

< 学歴 >

1998年 3月 熊本大学薬学部薬学科卒業 薬剤師免許証取得
2000年 3月 熊本大学大学院薬学研究科博士前期課程修了 修士（薬学）取得
2003年 3月 熊本大学大学院薬学研究科博士後期課程修了 博士（薬学）取得

< 職歴 >

2003年 4月 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部 医療職員薬剤師
2006年 4月 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 感染制御チーム（ICT）スタッフ
2007年 4月 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部 医薬品情報主任
2012年 4月 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部 注射薬調剤主任
2014年 4月 慶應義塾大学 薬学部 実務薬学講座 准教授
2017年 4月 慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座 教授

< 資格 >

2006年 3月 日本薬剤師研修センター認定薬剤師（第06-16662号）
2009年 1月 インфекションコントロールドクター（第CT0463号）
2009年 3月 感染制御専門薬剤師（第09-001号）
2010年 1月 日本医療薬学会指導薬剤師（第09-0004号）
2010年 3月 抗菌化学療法認定薬剤師（第10111号）
2019年 6月 老年薬学指導薬剤師（第1928号）

< 受賞歴 >

2011年 1月 第3回西日本ファーマシューティカルケア研究会優秀賞
2011年12月 平成23年度日本薬学会九州支部学術奨励賞
2014年 7月 第16回日本感染症医薬品協会奨励賞

< 所属学会 >

理事、評議員：日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本老年薬学会

評議員：日本感染症学会、日本薬理学会

代議員：日本薬学会、日本医療薬学会

一般会員：日本外科感染症学会、日本臨床微生物学会、日本医真菌学会、日本嫌気性菌感染症学会、
日本腎臓病薬物療法学会、日本薬物動態学会、日本薬剤学会、日本DDS学会、日本TDM学
会、日本臨床薬理学会、日本老年医学会、日本医薬品情報学会



この案内状の挿絵は昭和30年卒の平野 豪さんに描いて頂きました。

ミーティングスペース AP 浜松町へのアクセス



〒105-0011

東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビル B館 B1F

- 都営地下鉄大江戸線/浅草線「大門駅」より徒歩3分
- JR線・東京モノレール「浜松町駅」より徒歩7分

今後のご案内について

郵送料節約の為、E-mail でののご案内、ホームページへの掲載を行っております。

可能であれば、資料添付が可能な皆様のご都合の良いメールアドレスをご連絡ください。

尚、ホームページでは種々の行事を掲載しております。

薬剤師募集の案内も掲載しております。是非ホームページをご覧ください、活用をお願い申し上げます。

URL : <http://www.kumayaku-tb.ne.jp>